

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2019年度)

|                        |   |   |                 |       |         |
|------------------------|---|---|-----------------|-------|---------|
| 専門分野区分                 | デザイン・作<br>画技法   | 科 目 名   | 基礎デザイン          | 科目コード | D0410B1 |
| 配 当 期                  | 前期・後期・通年  | 授業実施形態  | 通常・集中           | 単 位 数 | 4 単位    |
| 担当教員名                  | 野田 知哉   | 履修グループ  | 1L(DG/DM/DW/MA) | 授業方法  | 演習      |
| 実務経験の内容                | グラフィックデザイナーとして広告デザイン業界のデザイン制作会社にて10年間、その後フリーランスとして15年の25年間、実務に携わった経験を活かして、グラフィックデザインに必要な、基礎描写、レイアウト、配色、画材の扱いといった、基礎デザイン技術について実践的に講義する。  |   |                 |       |         |
| 学習一般目標                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインの視覚的な表現の基礎的な方法・技法・原理に対する理解を深める。</li> <li>・構成と心理について理解し、視覚伝達における訴求を踏まえた構成・構図ができる。</li> <li>・デザイン制作手法について理解し、効果的なデザイン制作ができる。</li> </ul> |   |                 |       |         |
| 授業の概要<br>および学習上<br>の助言 | デザインにおける基礎的な視覚伝達表現の方法・知識の習得。<br>視覚表現の理論を実際のデザイン制作にどのように活かすことができるかを説明する。実習では平面構成を主体とした制作を課題として出題する。アイデアラフの作成でイメージを固め、計画的なデザイン制作を心がけるよう課題に取り組んでほしい。                                 |   |                 |       |         |
| 教科書および<br>参 考 書        | デザインを学ぶ1 グラフィックデザイン基礎   |   |                 |       |         |
| 履修に必要な<br>予備知識や<br>技能  | 日常目に触れる、デザインに対し日ごろから興味を持って接すること。<br>課題テーマに関わる資料等を、各自で日ごろから収集するなどデザインに対する関心を持つこと。  |   |                 |       |         |
| 使用 機 器                 | 実習教室、透明水彩絵の具、ポスターカラー、筆、筆先、方眼三角定規、直定規、筆記用具 その他   |   |                 |       |         |
| 使用ソフト                  |   |   |                 |       |         |
| 学習到達目標                 | 学部DP(番号表記)  | 学生が達成すべき行動目標  |                 |       |         |
|                        | 1   | 【デザインの基本】<br>デザインすることの意味を理解し、どのような手法を選ぶべきかを判断することができる。  |                 |       |         |
|                        | 1   | 【構成エレメント】<br>デザインを構成する要素(点・線・面・色・素材・空間など)を効果的に扱うことができる。 |                 |       |         |
|                        | 1   | 【構成と心理】<br>心理的效果を理解し、視覚的なメッセージをデザインで伝えることができる。          |                 |       |         |
|                        | 1   | 【構成手法】<br>デザインの構成手法を理解し、視覚表現に活かすことができる。                 |                 |       |         |
|                        | 1   | 【表現手法】<br>画材・素材の特性や扱い方を理解し、デザイン構成としてまとめることができる。         |                 |       |         |

| 達成度評価   | 評価方法             | 試験   | クイズ<br>小テスト | レポート | 成果発表<br>(口頭・実技) | 作品 | ポート<br>フォリオ | その他 | 合計 |     |
|---------|------------------|--|-------------|------|-----------------|----|-------------|-----|----|-----|
|         | 総合評価割合           |  |             |      |                 |    | 70          |     | 30 | 100 |
|         | 学<br>部<br>D<br>P | 1.知識・理解  |             |      |                 |    | 70          |     |    | 70  |
|         |                  | 2.思考・判断  |             |      |                 |    |             |     |    |     |
|         |                  | 3.態度   |             |      |                 |    |             |     |    |     |
|         |                  | 4.技能・表現  |             |      |                 |    |             |     |    |     |
| 5.関心・意欲 |                  |  |             |      |                 |    |             | 30  | 30 |     |
| 評価の要点   | 評価方法             | 評価の実施方法と注意点  |             |      |                 |    |             |     |    |     |
|         | 試験               |  |             |      |                 |    |             |     |    |     |
|         | クイズ<br>小テスト      |  |             |      |                 |    |             |     |    |     |
|         | レポート             |  |             |      |                 |    |             |     |    |     |
|         | 成果発表<br>(口頭・実技)  |  |             |      |                 |    |             |     |    |     |
|         | 作品               | 授業毎に出題される課題を制作・提出。課題に対する理解度と、作成力から、評価を行う。<br>授業時間内(提出期限内)に完成しなかった課題は、前期授業終了日まで作成、提出すること。 |             |      |                 |    |             |     |    |     |
|         | ポートフォリオ          |  |             |      |                 |    |             |     |    |     |
|         | その他              | 授業への出席、課題に対する取り組み、授業内容の理解度など総合的に判断する。  |             |      |                 |    |             |     |    |     |

## 授業明細表

| 回数<br>日付  | 学習内容  | 授業の運営方法 | 学習課題(予習・復習)                             |
|-----------|---|---------|---|
| 第1週<br>/  | 【デザインの基本】<br>テーマ：イメージから具体化へ<br>・ラフスケッチを描く ・着彩練習 | 講義・実習   | テキスト P26～31<br>※課題が時間内に出来なかった場合は次回までの宿題 |
| 第2週<br>/  | 【構成エレメント】<br>テーマ：色と組み合わせ<br>・色面の構成 カラーブロック      | 講義・実習   | テキスト P60～61<br>※課題が時間内に出来なかった場合は次回までの宿題 |
| 第3週<br>/  | 【構成手法】<br>テーマ：遠近法<br>・空気遠近法、グラデーション             | 講義・実習   | テキスト P70～71<br>※課題が時間内に出来なかった場合は次回までの宿題 |
| 第4週<br>/  | 【構成エレメント】<br>テーマ：線と面<br>・線と面のみによる平面構成           | 講義・実習   | テキスト P32～36<br>※課題が時間内に出来なかった場合は次回までの宿題 |
| 第5週<br>/  | 【構成と心理】<br>テーマ：視覚的メッセージ<br>・心理効果をふまえた構成 (透明感)   | 講義・実習   | テキスト P38～41<br>※課題が時間内に出来なかった場合は次回までの宿題 |
| 第6週<br>/  | 【構成手法】<br>テーマ：デザイン効果を狙った構成<br>・平面構成 (静・動)       | 講義・実習   | テキスト P16～19<br>※課題が時間内に出来なかった場合は次回までの宿題 |
| 第7週<br>/  | 【構成手法】<br>テーマ：デザイン効果を狙った構成<br>・平面構成 (味覚)        | 講義・実習   | テキスト P74～75<br>※課題が時間内に出来なかった場合は次回までの宿題 |
| 第8週<br>/  | 【構成手法】<br>テーマ：透視図法 (パースペクティブ)<br>・二点透視図法、立体感    | 講義・実習   | テキスト P66～67<br>※課題が時間内に出来なかった場合は次回までの宿題 |
| 第9週<br>/  | 【構成手法】<br>テーマ：面と模様<br>・ユニット構成                   | 講義・実習   | テキスト P76～79<br>※課題が時間内に出来なかった場合は次回までの宿題 |
| 第10週<br>/ | 【表現技法】<br>テーマ：画材の扱い方 (ポスターカラー)<br>・厚塗りによる質感表現   | 講義・実習   | ※課題が時間内に出来なかった場合は次回までの宿題                |
| 第11週<br>/ | 【表現技法】<br>テーマ：画材の扱い方 (透明水彩絵の具)<br>・透明水彩による重ね塗り  | 講義・実習   | ※課題が時間内に出来なかった場合は次回までの宿題                |
| 第12週<br>/ | 【表現技法】<br>テーマ：合成<br>・コラージュ制作                    | 講義・実習   | テキスト P54～57<br>※課題が時間内に出来なかった場合は次回までの宿題 |
| 第13週<br>/ | 【表現技法】<br>テーマ：タイポグラフィ<br>・文字を含んだ構成              | 講義・実習   | テキスト P82～93<br>※課題が時間内に出来なかった場合は次回までの宿題 |
| 第14週<br>/ | 【表現技法】<br>テーマ：イメージ (透明水彩)<br>・空想の○○             | 講義・実習   | ※課題が時間内に出来なかった場合は補講日程最終日まで提出            |